

あさか埋文レポート

Vol.06

発行日：令和3年11月11日
発行：朝霞市教育委員会文化財課

埋蔵文化財最新発掘調査情報

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設など大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

にくぼ・みややまいせき 西久保・宮山遺跡第22地点

調査地：朝霞市浜崎二丁目地内

期間：令和2年12月15日～12月23日

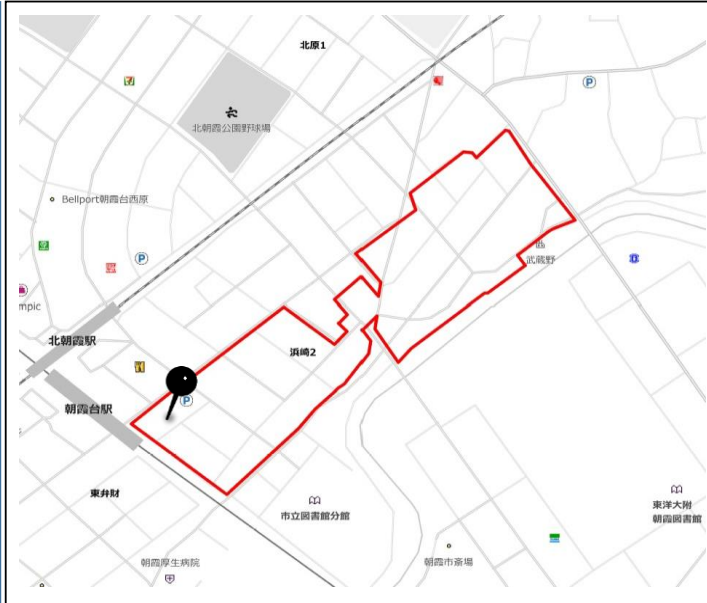
調査面積：26.35㎡

◆今回の調査では、住居跡1軒とピット1基が確認されました。

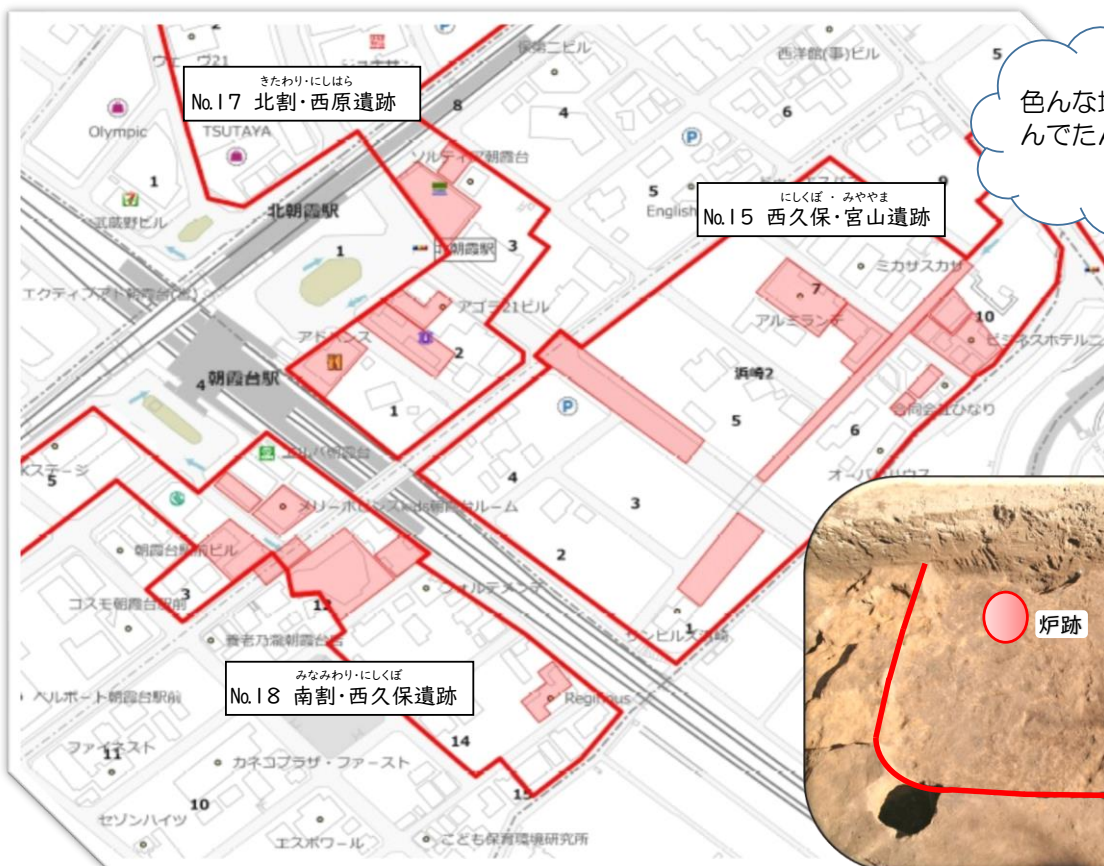
遺物は、縄文土器、土師器、須恵器、金属製品が出土しました。

住居跡は、後世の掘削で一部壊れていましたが、方形の住居跡であることが確認できました。また、住居跡内からは、硬化面と言われる床面の一部と思われる硬く締まった土の範囲や、炉跡と思われる焼けた土の範囲などが確認できました。しかし、この住居跡からは遺物が全く出土しなかったため、明確な時期は不明です。

今回の調査地点を含む黒目川に面した台地上では、縄文時代～古墳時代の住居跡が多数見つかり、その様相から各時代ごとにムラが営まれていたと考えられ、今回の調査で確認された住居跡も、いずれかの時代のムラの一部であると考えられます。



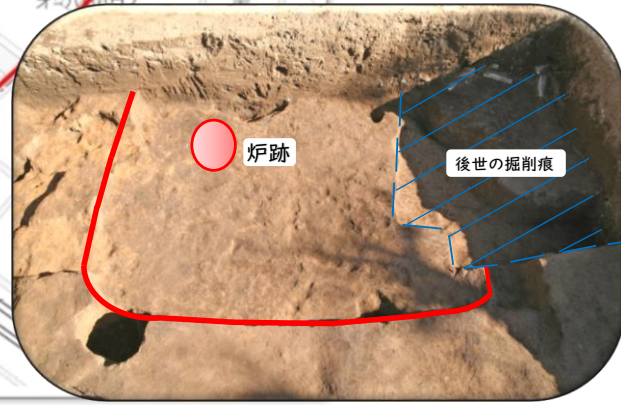
西久保・宮山遺跡第22地点 位置図



色々な場所に住んでたんだね。



©むさしのフロントあさか



赤く囲まれた場所が縄文時代～古墳時代の住居跡が検出された周辺の発掘調査場所

検出された住居跡